

ドイツ語の原詩を探す:リアル/バーチャル図書館往来 樋口 眞規子

2020年度、図書館は、新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言を受けて4月1日から5月31日まで閉館しました。その後、「学内者のみ」という制限付きで6月1日から開館し現在に至りますが、来館利用者の数が多いとは言えない些か寂しい状況が続いています。レファレンス・カウンターでの調査も開店休業状態……、そんなわけで、今回は、数年前の事例をひとつご紹介することにします。

図書館には、過去のレファレンス調査事例を記録したB6より少し大きいサイズのカードがたくさんあります。それをパラパラめくっていたら、次のような事例が目にとまりました。

質問:メンデルスゾーンの歌曲(op. 88)の歌詞の綴りを確認したい。
作者は、E. Geibel.

これだけ読めば「楽譜を見れば解決」と思うでしょう。国立音楽大学附属図書館では、実用譜は数種類(請求番号:F25-309等)所蔵しているし、Breitkopf & Härtelから出版された全集楽譜(旧全集、請求番号:A1-138)もあります。これらの歌詞を比較しても、違いは見当たりません。「本当は何を知りたいのか?」もう少しインタビューする必要があります。すると、その学生さんが知りたいのは、作詞者エマニュエル・ガイベル(Emanuel Geibel)の原詩と歌詞を比較したいということだったので。

結果としては、比較的簡単に、インターネット上の情報から原詩を確認することができました。

手順をおさらいしてみます(限られた字数なので、各サイトのURLは省略します)。

1)まず、メンデルスゾーンの「作品主題目録」で作品について確認しました。使用した資料は以下のとおりです。

Felix Mendelssohn-Bartholdy : Thematisch
-systematisches Verzeichnis der musikalischen Werke (MWW)
/ von Ralf Wehner(Wiesbaden : Breitkopf & Härtel , 2009)
請求番号●X-044/M537/W(資料ID●J116398)

すると、op.88は6曲からなる混声重唱曲„Sechs vierstimmige Lieder für Sopran, Alt, Tenor und Bass“, E. Geibelの詩は第5曲„Deutschland“に用いられていることがわかりました。上記の作品目録では、6曲それぞれに作品番号が付され、„Deutschland“には「F33」という番号が与えられています。

2)念のため、当館所蔵楽譜で歌詞を確認します。どの楽譜にも歌詞の違いはありません。

3)次にGeibelの原詩を探します。残念ながら当館未所蔵でした。そんな時の強い味方がインターネット上の情報です。まず、Googleを用いてEmanuel Geibelについての概要を調べることになりました。すると、ドイツ語版のWikipediaに原詩についての情報が載っていました。該当のURLまでリンクされているの

でバイエルン国立図書館で公開している初版を簡単に見ることができます。しかし該当の詩が収録されている詩集のタイトルがわかりません。そこで、またGoogleに詩人の名と歌いだしを入力、すると„Juniuslieder“(1848)に収められた詩だということがわかりました。バイエルン国立図書館のデジタル・データに戻り、目次を辿ると目的の詩が見つかります。しかし、古い字体(ひげ文字)で書かれているため読むのに疲れます。

4)それならばと、インターネット上の電子図書館“Project Gutenberg”で、作者名と詩のタイトルを入力(または、Googleでgeibel juniuslieder project gutenbergと入力)。あっという間に該当の詩に辿り着くことができました。

5)3)と4)で見つかった詩とメンデルスゾーンの楽譜の歌詞を比較します。歌いだしは一緒…しかし第1連の3行目で、早くも違いが見つかりました。

歌詞(タイトル: Deutschland)
Durch tiefe Nacht ein Brausen zieht
Und beugt die knospenden Reiser
Es klingt im Wind ein altes Lied
Das Lied vom deutschen Kaiser
原詩(タイトル: Lied des Alten im Bart)
Durch tiefe Nacht ein Brausen Zieht
Und beugt die knospenden Reiser
Im Winde klingt ein altes Lied
Das Lied vom deutschen Kaiser

第2-4連にかけても、同じように違いが確認できました。

現在では電子図書館や歌曲・合唱曲のテキストを掲載するサイトが、調査時よりさらに増えています。ドイツ・リートについて調べていると、元の詩を確認するという作業も必要となることもあるでしょう。Geibelについての調査は、図書館まで出かけなくても、自宅で多くの収穫を得ることができることを実感した例でした。

*3階のレファレンス・カウンターは、現在、閉鎖していますが、皆さんからの質問は、2階メイン・カウンターで受付けています。5月から実施しているメールやファックスによるレファレンス(調査受付)も引き続き利用できます。帰省中で図書館に来られない場合は、図書館のホームページの案内「オンライン授業期間のレファレンス(調査受付)」を参考に質問をお送りください。

ひぐち まきこ ● 就寝前の読書は子どもの頃からの習慣。

ウィリアム・トレヴァーの遺作『ラスト・ストーリーズ』(国書刊行会, 2020)。短編集なので、一編ずつ楽しみに読んでいます。